



広報リポーターの突撃取材!



福祉について意見発表した大下さん(左)

児童力強く
意見を発表

11月14日、第27回大川目町青少年意見発表大会を開催。大川目小6年の大下彩花さんと伊藤寛純くんが、学校や地域での実体験を基に自分の考えを力強く訴えました。聴衆は大人では気がつかない貴重な意見に心打たれていました。(小倉利之リポーター)



牛島付近で操業する夏井生産部

アワビ漁
解禁に笑顔

アワビ漁が解禁となり市漁協夏井生産部でも11月5日、口開けになりました。同日未明、半崎漁港に集めた組合員は漁船15隻に分乗し、一斉に出港。落札価格は前年比37%増とあって男たちからは充実した笑顔が見られました。(梅沢政隆リポーター)

体験で進路意識高める

三崎中2年生が職業体験

三崎中学校(川村孝一校長・生徒52人)の2年生17人は11月17日から19日までの3日間、市内15カ所で職業体験を行い、進路意識を高めました。

久慈消防署では中村拳梧くんが、心肺蘇生法や災害などの学習のほか、放水訓練なども体験。中村くんは「人を助けるのは大変な仕事だと分かったけど、将来は消防士になりたい」と力強く話していました。

久慈克範消防士長は「取り組む姿勢から熱意が伝わってきました。消防がどんな思いで仕事をしているか感じ取ってほしい」と期待を込めていました。



真剣に放水訓練に取り組む中村くん(右)



【広報体験】上の写真と記事を担当した
仲村知大くん
(三崎中2年)

写真を撮るのがとても楽しかったです!取材や編集は難しかったけど、完成したときはすごい達成感!将来は広報の仕事をしてみたいと思いました。

大盛り上がりで牛競う

街なかで短角種共進会

牛の発育具合や体型の良さを競い合う「第62回九戸地方日本短角種子牛共進会」は10月24日、中町イベント広場で開かれました。

長い歴史を誇る同会が山形町以外で開かれるのは初めて。牛の鳴き声を聞きつけた家族連れなど、約500人が見学に訪れました。

牛の月齢ごとに3部門に分かれて行われた審査には、畜産農家が手塩に掛けた41頭が出品。第2部では観客も審査に参加できるジャッジングコンテストも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

父・勝良さんの応援に掛けつけた柳平里美さん(山形町)は「にぎわって良かった。たくさんの人に牛を見てもらえればうれしいです」と笑顔。息子の翔真くん(6歳)は「牛が格好良い!」と夢中になっていました。

各部門の優勝 ※()内は出品者・敬称略

○第1部…ふくひめ22(向畑光正)

◎第2部…ひとにしき22(柿木由蔵) ※名誉賞

○第3部…かわはる(下館進)



- 1 / 会場には見事な牛たちが勢ぞろい
- 2 / ペゴ汁の振る舞いも
- 3 / 観客も真剣に審査したコンテスト
- 4 / 名誉賞を受賞した出品者の柿木由蔵さん



■名誉賞 Interview

励みになります!

受賞は励みになります。短角牛振興のため、みんなで競い合って頑張っていきたいですね。



力合わせ 地域高めて

まちづくり講演会

まちづくり講演会は10月25日、アンバーホールで開かれ、約380人が活動のヒントを探りました。

やまびこの里の澤山幸壽会長(ごうじょう)の事例発表に続き講演した、前三重県知事で早稲田大学大学院の北川正恭教授は「将来も生き残るため、市民・行政が力を合わせ地域を高めていきましょう」と訴えました。



ユーモアを交えながら講演した北川教授



野菜カレーなど、みんなで作った料理は格別

三世代で楽しく元気!

横沼で収穫祭

横沼世代間交流「ふれあいサロン・収穫祭」は10月31日、横沼公民館で開催。子どもから高齢者まで三世代が一緒になって、料理作りやゲームを楽しみました。

参加者最高齢96歳の大向ハルさんは「いつも集まるのが楽しみ。今日も元気をもらいました」と、元気な笑顔を見せていました。

火災警報器の設置を

火災予防運動活動

秋の火災予防運動(11月9-15日)に合わせて、久慈地区婦人消防協力隊連絡協議会は11月14日、各家庭を訪問し、住宅用火災警報器の設置を呼び掛けました。侍浜町では侍浜婦人消防協力隊(中佐代子隊長)が活動。訪問を受けた石橋マツさんは「あればより安心」と早速2台申し込んでいました。



警報器の重要性を説明する中隊長(右)



カブトガニに夢中になる子どもたち

間近の珍しさに釘付け

もぐらんぴあ出張

もぐらんぴあ出張水族館は11月6日、山根公民館で開催。ハリセンボンやトラザメなど、間近で見られる珍しい海の生き物に、子どもも大人も釘付けになっていました。

葦山公貴くん(山根小3年)は「オマールエビの動きがおもしろい!いろいろな生き物に触れて楽しかったです」と喜んでいました。

食事と運動大切さ学ぶ

肥満予防シンポ

少年期肥満予防シンポジウム in 久慈は11月7日、久慈東高校で開催。管理栄養士として北京五輪女子ソフトボールチームの活躍を支えた神奈川県立保健福祉大学の鈴木志保子教授が講演しました。

活動事例も発表され、約150人が子どもの成長に深くかかわる食事と運動の大切さを学びました。



「体は自分で守ろう」と力説した鈴木教授



勢よくスタートする中学・一般7区間の部

潮風浴び700人疾走

もぐらんぴあ駅伝

第15回久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会は11月7日、約700人が参加して開催。選手は日本地下石油備蓄基地前発着の19.5kmのコースを潮風を浴びて疾走しました。

同日は、もぐらんぴあ小学生マラソン大会も開催。約300人のちびっ子ランナーも大人に負けない熱い走りを見せました。